平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月12日

上場会社名　　サンヨーホームズ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　1420　　ＵＲＬ　http://www.sanyohomes.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役会長兼社長　　（氏名）田中　康典
問合せ先責任者　（役職名）取締役常務執行役員管理本部長（氏名）松本　文雄　　ＴＥＬ　06-6578-3403

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月12日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	6,339	－	△802	－	△878	－	△561	－
25年３月期第１四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　△561百万円（－%）　25年３月期第１四半期　－百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	△45.41	－
25年３月期第１四半期	－	－

（注）当社は、平成25年３月期第１四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年３月期第１四半期の記載及び同期間の比較は行っておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	45,139	13,138	29.1	1,041.06
25年３月期	46,198	12,359	26.8	1,171.54

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　13,138百万円　25年３月期　12,359百万円
(注)当社は、平成24年10月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり純資産を算出しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		0.00	－	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	16,826	－	△929	－	△1,150	－	△730	－	△58.42
通期	57,735	41.2	2,362	222.0	1,920	286.8	1,156	342.2	92.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	12,620,000株	25年３月期	10,550,000株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	0株	25年３月期	0株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	12,371,758株	25年３月期１Ｑ	10,550,000株

（注）当社は、平成24年10月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
４．補足情報 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月に発足した安倍政権が打ち出した「三本の矢（大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略）」に対する期待感から株価の上昇や円高の是正が進み、企業・個人とも景況感は改善されたものの、株価・為替とも乱高下を繰り返す不安定な状況が続き、また、欧州の債務問題や米国財政問題など景気の下振れリスクも存在するなど、未だ実体経済への波及までには至っておりません。

建築・不動産業界においては、新設住宅着工戸数は、平成25年４月－６月の実績は、総計241,349戸と前年同期比11.8%増、持家においては、87,958戸（前年同期比14.9%増）、分譲住宅（マンション含む）においては、67,328戸（前年同期比11.6%増）となり、10ヶ月連続で回復傾向が継続しました。

このような中、当社グループにおいては、「For the best life」というコーポレートスローガンのもと各事業に取り組んでまいりました。４月９日からは、既存住宅の流通に必要な各機能（住宅診断、売り手買い手のマッチング、住宅改修、点検、保証、ファイナンス提案）をワンストップサービスとして提供する、既存住宅流通活性化サービス「サン住まいリング」の立ち上げ、提携不動産事業者の募集を開始し、住宅事業・マンション事業など当社の展開する全事業との相乗効果を創出する取組みとしてリニューアル流通分野の開拓を行ってまいります。また、４月24日の介護事業運営会社「サンアドバンス株式会社」設立によるシルバーフレンドリー分野の展開など、将来を見据えた事業発展への布石も着実に打っており、当第１四半期連結累計期間末の受注残高は27,347百万円となり当社のこれまでの実績と比較して増加しました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の経営成績については、受注高13,201百万円、売上高は6,339百万円、営業損失は802百万円、経常損失は878百万円となり、四半期純損失については561百万円となりました。

（セグメント別の概況）

①住宅事業

当第１四半期連結累計期間の住宅事業におきましては、４月８日より当社独自のスマートハウス『スマｅ（スマイー）』を発展させたスマートタウン『スマｅタウンUrban 鶴見緑地』（「大阪市先導的都市型エコ住宅供給事業者募集」プロポーザルにて事業者として選定）の販売を開始しました。本事業では、『スマｅ』のコンセプトである「賢い構造」、「賢く使う」、「賢く暮らす」に加え、大阪市と建築協定を結び「街並み・植栽の維持管理」、各種生活の困りごとに対応する「生活サポート」、管理組合による「コミュニティ創出支援」を実施し、継続的な街の維持管理と環境に優しいゼロエネライフをサポートしてまいります。また、全支店において大型販売促進イベント「エコ＆セーフティ住宅まつり」や「For the best life」キャンペーンを開催し、新たな見込み客の獲得と受注促進に努めました。

賃貸福祉住宅につきましては、高齢者向け福祉施設での設計仕様標準化を進め、営業提案力向上、効率的な業務推進・高いレベルでの品質確保による受注体制の拡大を行いました。

リフォームにおいては、従来から推進しております住宅の診断システム「住まいのドック」の見学会を実施し、エンドユーザーはもとより、既存住宅の流通時での活用を推進するため、不動産事業者等への理解を深め、広く今後の普及・促進に努めました。また、エコ・エネルギー分野としては、住宅用の小規模な太陽光発電システムだけでなく、産業用の中規模～大規模システムにも取り組み、低層アパートオーナー等に対する10～50ｋW程度のシステム提案や、事務所・工場・倉庫の屋根、土地設置型の大規模太陽光発電システム受注に努めました。さらに将来の受注拡大のため、品質・コストバランスに優れたオリジナルパッケージの開発にも注力しました。当第１四半期連結累計期間末の住宅事業の受注残高は11,797百万円となり当社のこれまでの実績と比較して増加しました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の住宅事業の経営成績につきましては、受注高6,460百万円、売上高4,729百万円、営業損失173百万円となりました。

②マンション事業

当第１四半期連結累計期間のマンション事業におきましては、新規竣工物件は無く、今期竣工予定の大型物件「サンメゾン香里園エルグレース」総戸数260戸や「サンマークス大日ステーションレジデンス」総戸数296戸等の販売に注力してまいりました。また、「エコ＆セーフティ」という当社企業コンセプトを具現化するため、都市の低炭素化（CO2排出抑制）を目的に平成24年12月４日に施行された「低炭素住宅認定」と「防犯優良マンション認定」の二つを取得したマンション販売を開始し、エコ・エコノミーで安心・安全なマンション提供に取り組んでおります。マンション事業用地の企画コンサル型事業にも取り組み、当第１四半期連結累計期間末のマンション事業の受注残高は、15,549百万円となり当社のこれまでの実績と比較して増加しました。

この結果、当第１四半期連結累計期間のマンション事業の経営成績につきましては、受注高6,722百万円、売上高1,591百万円、営業損失346百万円となりました。

③その他

住宅販売に付帯する保険代理店事業等が中心となっているその他の売上高は18百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結累計期間末の総資産額は、45,139百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,058百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金2,927百万円、販売用不動産1,113百万円の減少、不動産事業支出金2,219百万円の増加等によるものです。

負債総額は32,001百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,837百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び工事未払金等6,033百万円の減少、有利子負債4,216百万円の増加等によるものです。

純資産総額は、13,138百万円となり、前連結会計年度末と比較し778百万円の増加となりました。要因は、当社株式上場に伴う新株の発行により、資本金670百万円及び資本剰余金670百万円の増加等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年５月14日の「平成25年３月期　決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第１四半期連結会計期間において、サンアドバンス株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,194,995	8,267,884
受取手形・完成工事未収入金等	1,305,321	1,339,823
販売用不動産	4,426,558	3,312,697
未成工事支出金	101,302	320,281
不動産事業支出金	23,417,874	25,637,751
その他のたな卸資産	173,564	237,854
前払費用	389,918	426,109
繰延税金資産	441,975	781,516
その他	159,052	202,072
貸倒引当金	△4,679	△5,102
流動資産合計	41,605,884	40,520,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,135,803	2,176,113
土地	924,316	918,881
その他（純額）	91,505	82,110
有形固定資産合計	3,151,625	3,177,105
無形固定資産		
ソフトウエア	39,018	36,500
その他	4,128	4,079
無形固定資産合計	43,146	40,580
投資その他の資産		
投資有価証券	377,849	378,965
繰延税金資産	673,870	664,419
その他	395,566	405,822
貸倒引当金	△49,175	△47,918
投資その他の資産合計	1,398,110	1,401,288
固定資産合計	4,592,882	4,618,975
資産合計	46,198,767	45,139,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	10,310,622	4,277,070
短期借入金	1,075,000	4,027,000
1年内返済予定の長期借入金	6,121,000	10,806,000
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
未払費用	600,055	497,236
未払法人税等	191,216	16,272
未成工事受入金	745,966	919,122
前受金	806,976	1,145,843
賞与引当金	336,718	162,342
完成工事補償引当金	157,600	165,000
その他	792,082	697,456
流動負債合計	21,217,238	22,793,343
固定負債		
社債	80,000	40,000
長期借入金	10,595,000	7,215,000
退職給付引当金	1,456,776	1,480,199
役員退職慰労引当金	153,285	138,776
その他	336,757	334,368
固定負債合計	12,621,819	9,208,344
負債合計	33,839,057	32,001,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,275,000	5,945,162
資本剰余金	2,941,634	3,611,796
利益剰余金	4,143,075	3,581,217
株主資本合計	12,359,710	13,138,176
純資産合計	12,359,710	13,138,176
負債純資産合計	46,198,767	45,139,864

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	6,339,703
売上原価	5,006,430
売上総利益	1,333,272
販売費及び一般管理費	2,136,154
営業損失（△）	△802,882
営業外収益	
受取利息	4,320
受取賃貸料	8,632
その他	9,178
営業外収益合計	22,130
営業外費用	
支払利息	67,501
その他	30,655
営業外費用合計	98,156
経常損失（△）	△878,908
特別利益	
固定資産売却益	275
特別利益合計	275
特別損失	
固定資産除却損	3,573
特別損失合計	3,573
税金等調整前四半期純損失（△）	△882,206
法人税、住民税及び事業税	9,741
法人税等調整額	△330,089
法人税等合計	△320,348
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△561,858
四半期純損失（△）	△561,858

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△561,858
四半期包括利益	△561,858
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	△561,858
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年４月８日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行1,800,000株（発行価格700円、引受価額647.50円、資本組入額323.75円）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ582,750千円増加しております。

また、平成25年５月８日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行270,000株（割当先野村證券株式会社、割当価格647.50円、資本組入額323.75円）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ87,412千円増加し、当第１四半期連結会計期間末において資本金が5,945,162千円、資本準備金が2,945,162千円となっております。

（セグメント情報等）

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	住宅事業	マンション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,729,436	1,591,920	6,321,356	18,346	6,339,703	－	6,339,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,650	－	27,650	－	27,650	△27,650	－
計	4,757,087	1,591,920	6,349,007	18,346	6,367,353	△27,650	6,339,703
セグメント損失（△）	△173,392	△346,848	△520,241	△557	△520,798	△282,083	△802,882

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント損失の調整額△282,083千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

４．補足情報

①受注状況

当第１四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
住宅事業	6,460,676	135.2	11,797,853	132.3
マンション事業	6,722,391	139.0	15,549,757	306.3
その他	18,346	258.9	－	－
合計	13,201,414	137.2	27,347,611	195.4

（注）１．セグメント間取引については相殺消去しております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
３．「その他」は売上高と同額を受注高としており、受注残高はありません。

地域別受注高については、次のとおりであります。（単位：千円）

関東地方	中部地方	近畿地方	九州地方	合計
4,919,095	1,599,153	5,776,542	906,624	13,201,414

②販売実績

当第１四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 （自　平成24年４月１日 至　平成25年３月31日）	前年同期比（%）
住宅事業（千円）	4,729,436	112.3
マンション事業（千円）	1,591,920	89.8
その他（千円）	18,346	258.9
合計（千円）	6,339,703	105.7

（注）１．セグメント間取引については相殺消去しております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

地域別販売高については、次のとおりであります。（単位：千円）

関東地方	中部地方	近畿地方	九州地方	合計
1,634,163	1,309,476	2,572,593	823,469	6,339,703